

2025年秋 第8号

小川未奈子です！



～子どもの未来に平和な坂戸を～

# みなこ通信

2025年（令和7年）  
9月2日～9月26日  
坂戸市議会9月定例会が開かれました

## 小川未奈子の一般質問

### 質問1： 子どもの性被害対策について

問 子どもの性被害に対する本市の支援体制は？

答 相談を受けた窓口で、相談者に寄り添った丁寧な聞き取りを行い、重大な事案については、速やかに児童相談所や警察等に通告を行い、子どもの安全や心身のケアを最優先に、迅速な対応に努めている。

問 教職員を対象とした包括的性教育に関する研修はあるのか？

答 埼玉県が行っている性暴力防止セミナー等に参加している。また、外部講師による授業では、児童生徒と一緒に教職員が話を聞く事が、包括的性教育を学ぶ機会となっている。

問 「子どもの権利に関する条例」の制定についての考えは？

答 近隣自治体の動向等に注視し、今後の研究課題としたい。

問 本市の包括的性教育への取組についての考えは？

答 本市では、包括的性教育に関わる出前講座を実施しており、一部の市内小中学校や児童センターなどで連携が始まっています。今年度は子どもの保護者の方を対象に、家庭での性教育をテーマとした講演会の実施を企画している。引き続き、医療、教育、保育、福祉などの関係機関との連携を強化し、包括的性教育を推進することで、子ども達を性被害から守るなどの取組を進めていきたい。

### 質問2： 誰もが安心して外出できるまちづくりについて

問 文化施設のトイレにおけるベビーチェアの設置状況は？

答 文化会館は、管理棟の1階から3階までの男性用トイレ、女性用トイレに各1台ずつ、計6台。文化施設オルモのトイレには設置していません。

問 学校施設のバリアフリー化の現状と今後の予定は？

答 小中学校18校のうち、昇降口や玄関等のスロープ設置が13校、校内階段への手摺設置が18校、車椅子対応トイレ設置が13校、エレベーターを整備している学校が1校。今年度設計を行っている車椅子対応トイレ未設置校5校の整備を進めます。

問 誰もが安心して外出できるまちづくりを実現するために、市としてどのような取組を行っていくのか？

答 利用者のニーズや財政状況等を総合的に勘案し、公共施設のバリアフリー化に努めることで、「誰もが安心して外出できるまちづくり」の推進に取り組んでいく。

坂戸市議会の  
インターネット中継  
(録画あり)



発行：小川みなこと歩む会  
ホームページはこちらから  
小川みなこ 坂戸：  
メール：m.ogawa  
@sakadoshigikai.com  
電話：070-9162-1581

私の思い

- ・ 盗撮事件や性犯罪、学校現場や保育所等における性被害の増加が社会問題となっており、保護者のみなさんも心配していると思います。
- ・ 家庭内の性被害は被害が把握されない潜在事例も多くあります。
- ・ 性被害に遭った子どもは、心身に大きな苦痛を受け、その後の人生にも影響を与えます。性犯罪・性暴力は被害者の尊厳を踏みにじる行為です。
- ・ 子どもたちを性被害から守るために、そして将来性加害者とならないための取組や性被害者への支援について、共に考える必要があります。

#### 包括的性教育とは…

身体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、自己決定能力などを含む人権尊重を基本とした性教育のこと。

私の思い

- ・ 乳幼児の保護者にとって、トイレにベビーチェアが設置されている事は、外出の際の重要なポイントです。
- ・ 既存の公共施設に新たにバリアフリートイレ等を設置する事は様々な課題もあると思いますが、段階的な整備や優先順位をつけた対応が必要です。
- ・ 坂戸市に住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりの一つの取組として、社会全体のバリアフリー化を推進する必要があります。

